NEWS RELEASE

2015年９月28日

各位

会社名　日本エマージェンシーアシスタンス株式会社
代表者名　代表取締役社長　吉田　一正
（コード番号：6063　東京証券取引所JASDAQ）

損害保険ジャパン日本興亜株式会社が開発した外国人旅行者向け「訪日旅行保険」の国内アシスタンス業務の受注について

日本エマージェンシーアシスタンス株式会社(略称：EAJ、本社：東京都文京区、代表取締役社長：吉田一正、URL：http://emergency.co.jp/)は、損害保険ジャパン日本興亜株式会社（社長：二宮 雅也、以下「損保ジャパン日本興亜㈱」）が開発した、外国人旅行者が日本入国後に加入できる業界初の『訪日旅行保険』の国内アシスタンス業務を受注しましたのでお知らせいたします。

記

１．商品開発の背景

訪日外国人旅行者数は、過去最高のペースで増加しており、日本政府は東京オリンピックが開催される2020年までに年間2,000万人とする目標を掲げています。

一方、外国人旅行者は、日本滞在中の病気やケガの際に、「どの医療機関に行くべきかわからない」、「健康保険等の給付がないため、自己負担が高額になりやすい」、「言葉が通じない」など多くの不便さや不安を抱えています。

また、海外旅行保険が普及していない国や地域も多数あり、観光庁の調査によると、旅行保険に加入していない外国人旅行者の割合は全体の約30％にのぼります。

このような状況の中で、損保ジャパン日本興亜㈱は、外国人旅行者へ更なる安心・安全を提供するために、観光庁との協議を重ね、外国人旅行者が自国で旅行保険に加入せずに日本に入国した場合でも、入国後に加入できる『訪日旅行保険』を独自に開発されました。

『訪日旅行保険』は、外国人旅行者自身のスマートフォン等から簡便にご加入いただけるインターネット加入専用商品であり、英語・中国語・韓国語に対応し、2016年２月以降に販売を開始する予定です。

２．当社の役割

この『訪日旅行保険』は損保ジャパン日本興亜㈱と実際のサービスを提供するアシスタンス会社との緊密な連携のもとで運営されますが、今般、当社がそのサービス提供アシスタンス会社として指名されました。

具体的に、当社は以下のサービスを提供いたします。

①医療機関手配サービス

②医療通訳サービス

医療の専門知識を有するコールセンタースタッフが、英語・中国語・韓国語での三者間通話に対応します。

※①②のサービスは24時間・365日利用可能です。

③キャッシュレス治療サービス

大都市・観光地を中心とした国内約800の協力医療機関において、キャッシュレス治療を提供します。

３．当社インバウンドサービスについて

当社の主力事業は日本人が海外旅行や海外駐在、海外渡航中に病気や怪我をされた場合に医療機関を手配する海外医療アシスタンスサービス（アウトバウンド）であり、全世界でサービス提供を実施できるように、世界中の医療機関とのネットワークを構築しております。

そして国内医療機関とのネットワークも約800機関あり、このリソースを生かして外国人の患者に日本の高度医療を紹介する国際医療事業にも2011年から取り組んでおります。

また、高度医療のみならず、訪日中に病気や怪我をされた外国人に日本の医療機関を手配する国内医療アシスタンスサービス提供数も昨今増加しており、高度医療の紹介とともに国内医療アシスタンスサービス（インバウンド）にも、高品質のサービス提供に努めて参りました。

このような取組みが評価され、本年９月４日に当社は「医療渡航支援企業※」に認証されました。

当社は今後とも「医療渡航支援企業」の名に恥じない高品質のサービス提供に努め、医療アシスタンスサービス提供企業のパイオニアとして、損保ジャパン日本興亜㈱の「訪日旅行保険」のサービスをサポートして参ります。

※「医療渡航支援企業」とは日本政府の成長戦略の一環として、来日して治療を受けようとする外国人が安心して医療サービスに関する相談や受診の支援が受けられるよう、一定の基準を満たした質の高い支援サービスを提供できる企業に日本政府が”お墨付き”を与える制度です。

■本件に関するお問合せ先
管理部　ＩＲ室
電話：03-3811-8121

以上